

つ森の里 通信

Vol.34



私は現在、現場管理の仕事に携わっています。今回は現場を進めていく上で、一般的な問題の一部を紹介します。まず現場の工程、品質、クレーム等の問題。また近隣とのトラブルです。施工上の問題は工事の遅れで契約工期に間に合わないとか、工事中の建物が図面、仕様書通りの品質、性能を満たしていないとかです(クレーム要因)。また近隣との問題は工事で発生するホコリや機械の騒音等です。(社会的クレーム)特に街中の現場ではトラブルの原因になり対策を講ずるまで工事の停止、延期を求められる場合も有ります。

いろいろな問題やトラブルは、どこの現場でも少なからず有ります。まず何事も無く建物を完成させると言うのは現実的では有りません。各現場も作業環境がそれぞれ違う為その対処も大変です。私自身、現場でのいろいろな問題の全ては排除出来無いと思います。特に近隣とのトラブルでは通常は考えられない事が有るからです。ただ最小限にする事は可能だと思います。現場の責任者として、いつも心掛けている事は(私も全て完璧に出来る訳では有りませんが)工期の遅れが出てきた時は各工事関係者との打ち合わせを綿密に行い現場での意識を高める。遅れの原因、各工種の進捗状況の把握、後工程の調整、内容等の確認、最終工期の組み直しなどを確実にを行うようにする。また施工後のクレーム等を極力避けるため使用材料や工事の方法、金額の変更を事前に施主様へ説明し理解を得る。工事の内容に変更が有れば関係者に伝え確認する事です。



次は近隣とのトラブルです。建設工事の現場では工事の進行に伴いホコリや騒音を発生します。この問題はなかなか避けて通る事は出来なく完全には解決できません。業者側としては事前に現場の状況を確認し、予測される問題へ最大限の努力をして対処する事です。例えば地域(住宅、商店街、学校、病院等)、道路、ライフライン、人、車の通行状況等を把握し、事前策を講ずる事です。また施主様から付近の情報提供を受けて参考にします。一般的には施主様に同行して頂き工事着手の挨拶、内容、工期の説明等を行います。以上のような事を確実に行って、予期できない事が発生し思わぬ事態に陥る場合が有ります。どの様な場合でも冷静に受け止め、素早く対処する事が必要です。現場は全ての事に責任を取らなくてなりません。どのような状況に置かれても、お客様に満足して頂ける商品を提供できるかどうか。現場監督の資質が問われるところです。

